

お客様訪問シリーズ No.448

全熱交換器ユニット〈ベンティエール〉 ストリーマ除菌ユニット (FIVE STAR ZEAS) ご採用事例

株式会社 三企様(東京都荒川区)



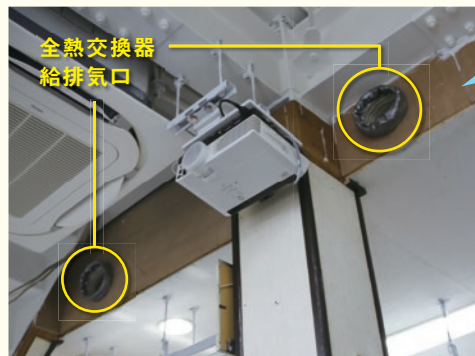
新しいオフィス提案の モデルケースとして、自社の換気・ 空調設備を最新モデルに更新。

株式会社 三企 丸山 和博社長(写真左)
モリタニ・ダイキン株式会社 坂口 勇太様(写真右)

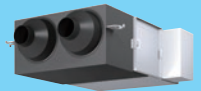
■ ご採用の経緯

密閉対策として全熱交換器で確実に換気。
ダイキンは除菌機能と快適技術が揃っているのが頼もしい。

- オフィス空間の3密対策(密閉・密集・密接)のうち、密閉は全熱交換器を採用すれば万全です。しかも、ダイキンは除菌機能(別売)が充実している。感染予防対策の換気、空調設備メーカーとしては最適だと思います。特に、ストリーマ技術は10万度相当の熱エネルギーで分解する技術を使っているなど、お客様にインパクトを持って説明しやすいと感じています。
- 更新して驚いたのは気流のやさしさ。マイルドな風当たりで、これはクレームが少ないぞと納得しました。空調設備取付け後、何件かは風あたりなどのクレームをいただき、その対応に追われるのが常でしたが、その対応の時間が減ったため、新規開拓や商品開発に集中でき、生産性が高まります。



換気扇から全熱交換器(250m³/hタイプ)に更新。安定した換気とともにエアコンの省エネ運転にも貢献します。



全熱交換器が常に空気の入れ替えを行うため、三企様が開発した「クラウドスクリーン」のCO₂濃度計の数値(写真右)も安定していました。

2020年4月以降、いち空調屋として、 オフィスの安全性を真剣に考える様になりました。

- 4月以降、自宅待機やリモートワークが推奨されるようになり、業務よりも人命優先の緊迫感が広がりました。今では、業界の人間でない一般人までもが換気を意識しはじめています。これまででは考えられない事態です。
- 弊社のようなエンジニアリング会社はリモートワークがしやすく、また多くのオフィスで採用される島型オフィスのレイアウト。大がかりな改装を行わない限りはレイアウト移動は難しく、隣との距離が近いので飛沫感染が気になってしまう。どうすれば社員の命を守れるかを真剣に考え抜きました。



従来の室内機は4方向吹出しの天井埋込カセット形。吹出し方向によっては冷えすぎを感じる女性社員もいましたが、更新後は気流がまんべんなく行きわたり、不快感がなくなったそうです。



搭載された2つのセンサーが人の在否と床温度をリアルタイムで把握し、気流を自動で切替えます。

感染症対策にお悩みの方に、コミュニケーションがとれる 仕切り+ダイキンの換気&除菌で、安心を提供していきたい。

- コロナウイルスが世界的にまん延してしまった以上、どれだけ対策を取っても「不安」が根付いてしまった。もう元の環境には戻らないと考えています。そして、換気というニーズに応えることができるかどうかは、販売店各社のスキルにかかっています。特約店は、まず自社にお客様に提供する製品を設置して、良さを実感すべきです。それでこそ説得に重みができます。
- 今、弊社が開発した「クラウドスクリーン」を見たいと、多くの方が来訪され、真剣に耳を傾けていただいています。そんな方々に、しっかりとした感染防止対策とともに、換気対策、除菌対策の大切さも説明することで、安心をご提供していきたいと考えています。



自社オフィスの中空に自社開発のクラウドスクリーン、天井部には室内機S-ラウンドフロータイプを設置。



納入設備概要

【換気】天井埋込ダクト形
VAM250HS×1台

【空調】FIVE STAR ZEAS
室内機 FHCP56EM×2台
室外機 RSRP112BD×1台
エコパネル(センシング機能付)、
ストリーマ除菌ユニット(別売品)×2台



リモコン上部にストリーマ除菌ユニットの設置をPRするステッカーを掲示。

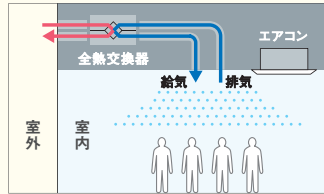


三企様は東京都より感染防止徹底宣言のステッカーを取得。

ご採用製品のご紹介

全熱交換器ユニット (ベンティエール)

空調された温度はそのままに
空気だけを入れ替えて
心地よい室温をキープします。



ストリーマ除菌ユニット 室内機別売品

ストリーマ技術を搭載。
空気中に含まれる
菌を抑制します。



(注)脱臭機能は装備していません。

透明のマスク(スクリーン)が、 島型オフィスに安心感をもたらします。

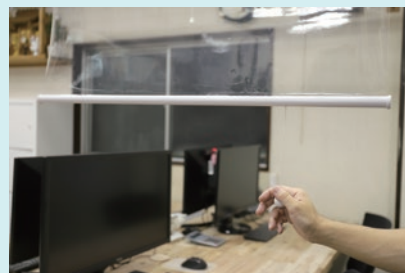
- オフィスの机は生産性を高めるための場所です。常に不安を感じる環境では、社員は力を発揮できないし、そうかといって、密集を避け出勤率を下げると生産性が落ちてしまう。そこで、協力業者や他分野の設備業・施工業の方々と知恵を出し合い、オフィスのレイアウトはそのままに、中空に簡易天井を組み立て、そこから机と机をスクリーンで間仕切る「クラウドスクリーン」を開発しました。
- クラウドスクリーンは天井、床、壁などはそのままに最小限の施工で可能なため、手軽に短工期で導入できるのも魅力です。

株式会社 三企様 開発

クラウドスクリーン



普段の近い距離で会話してもスクリーンを通して会話するため、飛沫感染に配慮できます。



スクリーン不要時はワンタッチで天井レール部分に収納。その時々に合わせてレイアウトが可能です。



オプションで照明や植栽などを追加することができます。

ダイキン工業株式会社

本社 〒530-8323 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル
東京支社 〒108-0075 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル